

○ H25 ブナ二次林と素材生産事業地等見学会 ～森林と木を知るツアー～

9月12日(木)三八上北森林管理署で「ブナ二次林と素材生産事業地等見学会」～森林と木を知るツアー～(以下ツアーと称する)を実施しました。

このツアーは、素材生産請負現場・製材工場等加工施設等の見学をとおして、木の伐採から流通、加工により木材製品となり住宅へ利用されるまでの一連の流れ(川上から川下へ)を体験・見学し森林の重要性、林業への理解、木材の良さを深めてもらおうと上北地域県民局、上北森林組合の共催、(有)岩木建設(モデル住宅)の協力を得て開催しているもので、6名の募集に対して5名が応募、当日は4名(急用により1名欠)が参加し実施しました。

朝8時45分、当森林管理署前へ集合し、署長の挨拶、日程等の説明のあと、上北森林組合で実行している十和田市惣辺山44林班の森林整備請負事業(活用型(間伐))現地へ向かいました。

約1時間の道程で事業現地に到着し、スギ立木の伐採から素材(丸太)になるまでの一連の作業・工程を見学し、販売する巻立丸太を見ながら伐採の迫力と機械化された現状、木材価格等に対し質問意見等を交換しました。

次に、ブナ二次林のある高崎41林班に移動し、5年から7年に一度と言うブナの実の豊作状況を観察、他の広葉樹を見ながら惣辺牧野で忌憚のなく交流しながら昼食をとり、午後からの上北森林組合木材加工センターへ向かいました。

木材加工センターでは、「青森県産材の利用」、「木材エコポイント制度」について、上北地域県民局から説明を受け、上北森林組合、加工場の概要説明を受けた後、加工センターを見学し、丸太から製材され製品、残材の利用等一連の作業等を説明を受けながら見学しました。

最後に、十和田市内のモデル住宅を見学、お茶をいただきながら岩木建設社長より木造住宅の特徴や木の良さを説明を聞き、木の良さを堪能、再確認したツアーとなりました。

このツアー開催にあたっては、関係各位のご協力により、応募して下さいました参加者皆さまが、木の良さを実感していただいたと思います。

今後も引き続き「森林・林業」について、地域の方々に理解していただくためPR活動を継続して取組んでいきます。



署長の挨拶



高性能林業機械の見学



伐採現場の見学



加工センターの見学



県産材の説明



モデル住宅の見学